

大きな憧れをいだく大草っ子



大草小学校だより「あこがれ」

第7号 平成28年8月9日(火) 校長 有谷孝彦

学校づくりの合言葉「**大草 つくろう! トライアングル**」
自信 (Confidence) 挑戦 (Challenge) 思いやり (Consideration) トリプルC



柱 の太い学校へ!

夏休みも中盤を迎えました。サマー
スクールにやってくる子どもたちの肌
の色は、もはや黒光りといったところ
でしょうか。大きな怪我や事故もなく、
これまで過ごせたことに感謝したいと
思います。後半も元気に過ごしてくれ
ることを願ってやみません。

さて、学校耐震化工事もどんどん進
んでおります。子どもたちが2学期か
ら使用する教室は、急ピッチで改装されております。また、本来の目的である学
校を支える強い柱づくりも、写真のように、コンクリートミキサー車やクレーン
車が入り込み補強されています。大草小学校には、これまで築き上げられた14
0年の歴史と耐震化された学校施設ができあがりますので、このことに負けな
いような教育を施さねばならないと強く思っているところです。私たち教職員
をはじめとする保護者・地域の方々等の子供を取り巻く環境が、結束し、子ども
たちの心にも「太い柱」を育てたいものです。



「いのちの理由」
さだまさし より 抜粋

私が生まれてきた訳は
愛しいあなたに出会うため
私が生まれてきた訳は
愛しいあなたに出会うため

平和は、みんなで作るもの！

毎年、暑い盛りになると、それとは対照的に大きな悲しみを振り返り、反省を繰り返しています。戦後71年目を迎える2016年においても、その凄惨な記憶は褪せることはありません。国と国との小競り合いに始まり、それぞれの国民が巻き込まれ、大切な命を犠牲にした戦争がありました。私たちは、その惨劇を繰り返さないよ



うに、毎年、平和についてじっくりと考えることを絶やさないようにしています。

私たちの生活と戦争を直接的に結びつけるのはどうかと思いますが、子どもたちの学校生活においても、「小さな戦争の種」があちこちに見受けられます。例えば、「嘘をつくこと」です。人の気を引くために嘘をつき、その嘘が反感を買い、いじめや暴力につながっていきます。人間関係にひびが入り、信頼関係も築けなくなります。暴力は、「小さな戦争」ではないでしょうか。お互いが素直な心で向き合い、建設的な意見を出し合い、感情的になることなく、バランスを保てれば、「小さな戦争」は起こらないと思います。このバランス感覚が、いずれは「平和」につながっていくものと思います。



世界では、今なお戦争を引き起こそうとする人々があります。国内でも人権を無視した、考えられない事件が頻発しています。本当に悲しい限りです。私たちにできることは、やらなければならないことは、これからの社会を生き抜くことのできる人間を育むことです。そのためには、大人が子供に「かかわり」をもつことだと考えます。



学校だより等については、大草小学校HPにも掲載しておりますので御覧ください。